

(別紙2)

## 1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年7月5日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3972400349
法人名	医療法人 岡本会
事業所名	グループホーム 高岩
所在地	〒781-2321 高知県吾川郡いの町小川西津賀才126
自己評価作成日	平成22年2月8日
評価結果市町村受理日	平成22年7月9日

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	高知県社会福祉協議会
所在地	〒780-8567 高知県高知市朝倉戊375-1 高知県立ふくし交流プラザ
訪問調査日	平成22年3月12日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://kaigo.pippikochi.or.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3972400349&amp;SCD=320">http://kaigo.pippikochi.or.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3972400349&amp;SCD=320</a>
-------------	---

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

田舎ならではの自然環境の中で、ゆったりとした穏やかな生活を送っていただき、入居者は職員とも馴染みの方が多く、不安なく、安心かつ快適な日常生活を支援しています。職員は入居者から生活習慣や食生活など、日々の生活を通じて学び、支え合いながら暮らしています。また、学校や地区会との交流や、ミニデイサービスへの参加は、過疎地域の特色を活かした小人数での人と人との触れ合いがあり、地域ボランティアの方々との慰問や職員が地域へボランティア活動に出向くなど、地域との交流を大切にしています。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

利用者、職員共に地元の方が多数を占め、馴染みの関係があり、利用者の表情や言動に安心感と精神的な安らぎが表われている。昔の農具を飾って往時を思い出す環境づくりのほか、玄関にミニ商店を開き、買物の機会を提供したり、駐車場で食事会を催すなど、日々の生活を楽しく、和やかに過ごせるよう工夫している。前回評価の課題であった地域住民の参加による避難訓練も、運営推進会議で話し合い実現するなど、今後も地域と密着した事業所としての期待が持てる。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	<b>○理念の共有と実践</b> 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	独自の理念を作成し、見やすい所に掲示し、理念を理解できるように朝礼で読み、職員全員が実践できるよう話し合い取り組んでいる。	事業所独自の地域密着型の理念を作成している。理念をスタッフルームに貼り出し、毎朝唱和して意識づけを行い、職員は日々明るく温かい対応をモットーに寄り添う介護を実践している。	
2	2	<b>○事業所と地域とのつきあい</b> 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	水曜日に「るんるん若がえる体操」を地域の方と一緒にしている。ホームの行事の時には地域の方を招待をして一緒に楽しんでいる。	地域の一斉清掃に参加したり、集会所のミニデイサービス事業（るんるん若返る体操）に利用者も参加し交流を深めている。また、小学校児童との交流や近隣の住民が気軽に立ち寄りお茶を飲みながら談話したり、野菜を頂くなど日常的に自然に交流している。	
3		<b>○事業所の力を活かした地域貢献</b> 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方に行事等の参加を通じて利用者と一緒に過ごしてもらい、理解を得るよう努めている。	/	/
4	3	<b>○運営推進会議を活かした取組み</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議の内容を職員に報告し、いただいた意見は日々のサービスにつなげて行くよう努めている。	事業内容やサービスの状況、利用者の近況、その他安全面などについても話し合いが持たれ、サービスの向上に繋げている。また、評価結果についても報告し、改善に向けて助言や協力を得るなど、運営に活かしている。	運営推進会議では、参加委員との意見交換も行われているが、その内容を議事録として記録に残しておくことが望まれる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p><b>○市町村との連携</b></p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>町の担当者と保健師と日頃から交流があり、出向いて相談したり、何かの便に事業所に寄ってもらうなど、関係を築いている。</p>	<p>地域包括支援センターの担当者や支所の保健師とは、日頃から関わりをもって運営に取り組んでいる。特に、保健師とは利用者の入退居の件や困難事例等について話し合っている。また、気軽に事業所を訪れてもらうなど、密に連携している。</p>	
6	5	<p><b>○身体拘束をしないケアの実践</b></p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>外部の研修会に順次参加し、ホーム内でも職員会を通じて、理解を深め、玄関の施錠を含めて拘束をしない介護に取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束に関する研修を行い、職員に周知徹底し、言葉による拘束についても職員同士で注意しながら拘束をしないケアに取り組んでいる。玄関は開放しており、外出した場合は後からついて行くなど、見守っている。鍵をしないことのリスクについて、家族に説明している。</p>	
7		<p><b>○虐待の防止の徹底</b></p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>外部の研修会に参加し、日々のミーティングや業務の中で繰り返し話し合いながら防止に努めている。</p>		
8		<p><b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b></p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>研修会に順次参加しながら学ぶとともに、社会福祉協議会から教示を得ている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	時間をかけ、ゆっくりと分かり易く説明を行い、理解、納得を得ている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族から気軽に意見や要望を言ってもらえるよう、日頃から信頼関係を築いている。また、意見箱の利用についても説明している。	家族の面会時等の機会を捉えて、希望や要望を聞き個別に対応している。家族が県外に在住している利用者なども多いが、年3回の行事を通じて家族同士の交流はある。	家族は身内が世話になっていることなど、意見を言い出し難い背景を考慮し、家族同士で話し合う機会を設け、率直な意見が出やすくなるような取り組みを期待したい。
11	7	<b>○運営に関する職員意見の反映</b> 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日々の業務の中で職員の意見や提案を聞き、管理者は必要に応じて代表者に報告、相談しながら、運営に反映させている。	職員会や日々のミーティングで職員の意見を聞き、重度化に対応した勤務体制や利用者の安全対策のための設備整備など、運営面の改善につなげている。	
12		<b>○就業環境の整備</b> 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の業務実績を褒めながら自信を持って働けるように努めている。また、介護技術の学習の場を確保するなど、向上心を高める配慮をしている。		
13		<b>○職員を育てる取組み</b> 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修への参加や、法人内の合同勉強会、ホーム独自の勉強会には全員が参加できるよう配慮するなど、日々のサービスに活かしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	他の事業所との相互訪問を通じて情報交換を行い、サービスの向上に活かしている。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	相談から利用までの期間に面談し、ご本人とゆっくり話をして困っていることなどを受け止め、信頼関係を築き、一緒に歩めるように努めている。		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	ご家族の意向をよく聞き、可能な限りホーム全体や生活の様子を見学してもらい、安心と納得してもらうよう努めている。		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	現在の状況を把握して、本人、家族にとって何が一番必要なのかを考え、状況に応じて医療や介護の関係機関と協議しながら対応している。		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	生活習慣や作法等、特に田舎の風習について利用者から教えてもらいながら、共に暮らす者同士の関係を築いている。共に過ごす中で感謝の声かけをしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<b>○本人と共に支え合う家族との関係</b> 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ホーム内での生活状況を見てもらい、面会時は利用者と自室でゆっくり過ごせる時間を大切にしている。また、行事を通じて他の利用者との親睦もしている。		
20	8	<b>○馴染みの人や場との関係継続の支援</b> 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域で活躍していた頃の情報や職歴等を把握して、日常生活の中で話題にし思い出を語ってもらったり、地域に出向いて関係の継続に努めている。	行きつけの理・美容院に行ったり、入居前に利用していた道の駅や商店に出かけたりしている。また、知人や友人が気軽に立ち寄ってくれるなど、馴染みの関係を続けるよう支援している。	
21		<b>○利用者同士の関係の支援</b> 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者の性格等を把握し、個性も尊重しながら、職員が仲介して仲間づくりや良好な関係を保つよう支援している。		
22		<b>○関係を断ち切らない取組み</b> サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居時には、本人、家族、主治医と相談し、納得のうえで契約を終了しているが、以後も必要に応じて相談を受けるなど、継続して関わりをもっている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	<b>○思いや意向の把握</b> 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の体調も考慮しながら、日常会話や動作も踏まえ、状態に合った暮らし方の希望や思いを把握するように努めている。	生活歴等を念頭に、利用者の言葉や仕草から暮らしの意向等を把握している。思いや意向の把握が困難な場合は、表情や行動の中から推測したり、家族の意見を聞きながら検討をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入居前に生活歴や職歴、家族構成等を把握し、入居後も利用者や家族等から情報を得るようにし、それに沿ったケアにつなげている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>身体状態に考慮し、読書や絵を描いたり、皆で歌を唄ったり身体を動かすなど、その人の好むそれぞれの過ごし方を支援している。</p>		
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>日々の介護記録や職員の気づき、本人、家族の希望を取り入れ、職員全員で介護計画を検討している。</p>	<p>利用者や家族の要望等を聞き、職員のモニタリングをもとにカンファレンスを行い、介護計画を作成している。定期的見直しは3カ月毎にしているが、入退院時などを含め状況変化に応じて、柔軟に見直している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の様子、実践など、個人ファイルに記録して、情報の共有をしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>母体の医療機関から月3～4回の往診を受けたり、専門医（眼科、耳鼻科等）への受診の際には事業所で送迎するなど、医療面の支援に可能な限り取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		<b>○地域資源との協働</b> 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	部落長、民生委員、生活支援、消防団、ボランティアの方々と日頃から交流を持ちホームの内容を説明して協力を得ている。		
30	11	<b>○かかりつけ医の受診診断</b> 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医の診察は定期的（月3～4回）に受けているが、必要時には随時受診できる体制にあり、本人、家族ともに納得して頂いている。	利用前のかかりつけ医を継続している利用者と、入居後に希望で協力医療機関に変更している利用者もいる。家族等が希望するかかりつけ医や専門医の通院介助は家族対応としているが、家族の状況に応じて職員が柔軟に対応している。受診結果は家族から連絡をもらい、申し送りノートで共有している。	
31		<b>○看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	ホームに看護師を配置している。また、母体法人の看護師にも週に2日来てもらするなど、健康管理体制が整っている。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	医療機関とは入院時より退院に向けての話し合いを行い、安心して治療が行えるよう支援している。必要に応じて面会を重ねて退院の準備をしている。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>○<b>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b></p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化した時の意向を家族と度々話し合い、必要な時には主治医も交えて話し合いを持って方針を検討している。</p>	<p>入居時に看取りに関する指針について、利用者、家族に説明し、同意を得ている。これまで事業所で看取りを行った例はなく、家族の意向に沿って医療機関で最期を迎えた例がある。事業所での看取りの希望があれば、医療関係者と連携して家族等が納得できる対応の準備は整えている。</p>	
34		<p>○<b>急変や事故発生時の備え</b></p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>色々な場面を想定して落ち着いて対応するよう、常に話し合いをもっている。</p>	/	/
35	13	<p>○<b>災害対策</b></p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>避難訓練を実施することで、日常の勤務中でも防災意識を持つことができるように努力している。地域の消防団、役場とは協力を得られるよう、常に働きかけている。</p>	<p>消防署の指導と地域住民の参加を得て、避難訓練を実施している。また、消火器等設備の定期的な点検や、高知県社会福祉施設地震防災対策マニュアルに基づく非常食料の備えもできている。</p>	
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<p>○<b>一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</b></p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>家族や関係者と十分話し合い、混乱やダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>日常の介護場面で、利用者の尊厳の保持に常に配慮している。特に、排泄介助時には、戸締り、声掛け、汚物処理などに気を配り、誇りやプライバシーを損ねない支援を徹底している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自分の思いや希望、また、愚痴が言えるよう、場面づくりに努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの生活リズムに合わせて支援を行っており、可能な限り本人の意向に沿うよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	家族の協力も得て、本人に合ったお洒落、身だしなみが出来るよう支援している。行きつけの理・美容院も利用している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ゆったりとした雰囲気の中で食事を楽しんでもらえるよう工夫している。季節の食材を取り入れ、可能な限り地元で取れた物を使用し、利用者も野菜の下ごしらえなど一緒にしている。	地域の食材を盛り沢山に使ったメニューで、利用者はできる範囲で下ごしらえや下膳、片付けを職員と一緒にしている。また、食事風景は話題も豊富で、和やかな雰囲気のなかで食事を楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個人の嗜好や摂取量を考慮して不足したり過度にならないよう、個人の状態や習慣に応じて支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		<b>○口腔内の清潔保持</b> 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後のケアの支援とともに、夜間は義歯の消毒を行っている。また、歯科医の訪問治療を受け、口腔ケアについてのアドバイスを受けて実践に取り組んでいる。		
43	16	<b>○排泄の自立支援</b> 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個人に合った誘導を行い、プライバシーにも配慮して支援している。パッドの汚染の軽減を目指し気持ちよく排泄ができるよう支援している。必要に応じ排泄時間を記録している。	排泄用品は、紙パンツ、パッドや布パンツを使用しており、現在、オムツ使用者はいない。尿意の訴えや仕草で察知し、随時誘導するなど、介護計画にも沿った対応をしている。排尿状況のチェックは2名で、その他の利用者は、職員の観察に頼っている。	利用者一人ひとりの排泄パターンを記録し把握することで、状況に応じた排泄の自立支援に取り組むことが望まれる。
44		<b>○便秘の予防と対応</b> 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個人の排便チェックを行い、水分摂取や繊維の多い食品摂取、また、個人に合った運動等を日常的に行い、できるだけ薬は使用しないようにしている。		
45	17	<b>○入浴を楽しむことができる支援</b> 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	毎日入浴できる体制にあり、本人の希望や体調により、安全かつ快適な入浴を提供している。	入浴は、13時から16時までの時間帯で対応している。毎日入浴したい利用者や、色々と理由をつけて拒否する利用者もいるが、言葉がけや血圧測定で安心感を与えるなど、無理強いすることなく納得のうえでの入浴を支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<b>○安眠や休息の支援</b> 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している	個人に合わせ、ゆっくり眠れる ように、光、音、温度など調整 している。		
47		<b>○服薬支援</b> 一人ひとりが使用している薬の目 的や副作用、用法や用量について 理解しており、服薬の支援と症 状の変化の確認に努めている	日々の服薬確認、服薬介助、名 前、食前、食後など再確認して 行っている。薬の内容は個人ファ イルにとじ誰もがわかる様に している。		
48		<b>○役割、楽しみごとの支援</b> 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている	パズル、塗り絵、しりとり、カ ラオケなど、個人に合った楽し みを見つけ、また、洗濯物を干 したり、たたんだり、食卓テー ブル拭きくなど、負担にならない 程度の役割をこなしてもらって いる。		
49	18	<b>○日常的な外出支援</b> 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している	体調や、気候状況に合わせて屋 外散歩をしている。レベルに合 わせて職員が見守り付き添いを 行っている。花見、運動会、夏 祭りなど、家族と一緒に参加し たり、買い物、ドライブなど支 援している。また、遠くに行け ない利用者は車椅子で近くを 散策するなど支援している。	近くのコンビニエンスストアや 道の駅へ買い物に出かけたり、 季節や体調に配慮して散歩に出 ている。季節毎の花見や行楽な ど、随時柔軟に対応するととも に、法人のグループホームとの 合同遠足なども実施し、家族の 参加もある。車椅子の利用者 も近辺を散歩をするなど外気に 触れる機会を作っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>買い物や、外食の時に自分で支払いをするなど、お金を大切に使っている。理解できない方は職員が援助している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>電話はかけ間違いのないよう手助けをして相手を確認してから本人と代わっている。手紙は出来ない部分を介助して一緒に作成している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>迷いや混乱を招くことのない、馴染みの物を飾り、使い慣れた椅子などを置き、昔ながらの生活を感じ落ち着いて過ごしている。</p>	<p>居間にはガラス越しに陽がいっぱいに差し込み、道路に面した入り口にソファを置き、近隣の通行人との交流も見られる。玄関口には、昔の農具を金柑や稲穂で装飾して飾ったり、居間には子ども用の綿入れを飾るなど、ほのぼのとした生活感のある雰囲気づくりや、雛人形、桜の花などを飾り、季節感にも配慮している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>一人ひとりが自分の居場所を見つけられるように、ソファや椅子をあちこちに配置し、利用できるよう工夫をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>馴染みの家具や大切にしていた物を持ち込んでもらい、本人が一番落ち着いて過ごせる雰囲気づくりをしている。</p>	<p>在宅での暮らしをそのままに、箆笥の引出しを1段外したものや、テレビ、人形、タオルなど家族の協力を得て、馴染みの品が持ち込まれ、個性の窺える居室づくりに配慮している。利用者のお気に入り手作りの風鈴をつけたりしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>職員は個人のレベルを把握しておりトイレの位置や自室への入り口への目印を工夫して混乱を最小限にとどめる様に努めている。</p>	/	/

V アウトカム項目		ユニット名： ( 青 空 )	
項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている
			2. 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11. 12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない



自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	<b>○理念の共有と実践</b> 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を朝礼で読み合い、また、日々話し合いを持ち理解したうえで、職員全員で実践に取り組んでいる。		
2	2	<b>○事業所と地域とのつきあい</b> 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	ホームのフロアを提供して地域の方と一緒に「るんるん若がえる体操」を行ったり、ホームの行事には招待して一緒に楽しんでいる。		
3		<b>○事業所の力を活かした地域貢献</b> 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域のミニデイサービスに参加したり、ホームに度々来所してもらい、一緒に過ごしてもらう中で認知症について理解をしてもらうようにしている。		
4	3	<b>○運営推進会議を活かした取組み</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議の内容、家族代表、地域代表の方からの意見を職員に報告して日々のサービスにつなげていくよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>町の福祉課の職員、保健師の方々とは日頃から交流があり、来所してもらったり出向いて行って意見を聞いたりサービス向上につなげている。</p>		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束については日頃からミーティングを行い理解をし、施錠や身体拘束のないケアに取り組んでいる。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>日々のミーティングや業務の中で繰り返し話し合いながら防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している</p>	<p>制度を利用している利用者もおり、月1回来所される県社協の方や、生活支援の方からお話を聞き勉強している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	時間をかけゆっくりと説明し、必要に応じて繰り返し行い理解、納得を得ている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	気軽に不満や要望を言ってもらえるよう、日頃から信頼関係を築くように努めている。電話や意見箱の利用も説明している。		
11	7	<b>○運営に関する職員意見の反映</b> 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の意見や提案を聞き、管理者は必要に応じて運営者に報告、相談を行っている。		
12		<b>○就業環境の整備</b> 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勉強する場を設けて不安なく働けるように努め、自信と気持ちのゆとりが持てるよい配慮している。		
13		<b>○職員を育てる取組み</b> 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修会への参加、ホーム内でも勉強会、法人での合同勉強会等、研修を受ける機会を設けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	他の事業所との相互交流で情報交換を行い、サービス向上へつなげている。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	利用に至るまでに面談し、ご本人とゆっくり話をし、その中で困っていることを把握するように努め、生活支援を任せてもらえる関係づくりに配慮している。		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	ご家族の意見をよく聞き、何度かホーム内の案内や入居者の生活の様子をみていただくなど、納得してもらう機会を設けている。		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	ご本人、ご家族にとって今何が一番必要かを状況判断をして、必要に応じて他施設の関係者の意見も聞いて対応している。		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	利用者に寄り添う日常生活の中で、昔からの生活習慣、作法等を習い、特に、田舎特有のならわし等を教えてもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	ホーム内での生活状況、行事の時のビデオ等を見てもらったり、日常生活ぶりを報告したり、面会時には家族とゆっくり過ごせる時間を設けている。		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないうよう、支援に努めている</p>	馴染みの地域の方に気軽に来所してもらったり、地域に出向いたり一緒に過ごす機会を設けている。生活歴、地域での役割等を把握して会話に取り組み、思い出を語ってもらっている。		
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	仲間作りができるよう、個人の性格特徴を把握し、また、介護の度合いも考慮している。		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	退居時には、本人、家族、主治医と相談して納得いく形で契約を終了している。以後も必要に応じて相談を受け、継続して関わりを持っている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	希望や意向、体調等を考慮しながら状態にあったペースで暮らしを支えている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入居前に得た情報、生活歴、職歴、家族構成を把握し、それに沿った生活ができるように努めている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>個人の心身状態を考慮し、その人に合った過ごし方、新聞、本の読み聞かせなど、それぞれの楽しみ方を支援している。</p>		
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>本人や家族の意向を考慮したうえで、職員がミーティングを行い介護計画を作成している。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個人のファイルには日々の様子、実践などを記録して情報を共有している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>母体の医療機関の協力が得られており、月3～4回の往診を受け、治療を必要としても現状の生活が維持できるようにしている。専門医（眼科、耳鼻科等）の受診の際には送迎の支援を行う等、可能な限り支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		<b>○地域資源との協働</b> 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域部落長、民生委員、社協、生活支援、消防団、ボランティアの方々とは日頃から交流を持ち、ホームの内容を説明して協力を得ている。また、職員がボランティアとして地域に出て活動している。		
30	11	<b>○かかりつけ医の受診診断</b> 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医の診察は月3～4回定期的に受けているが、必要時には随時受診できる体制にあり、本人、家族共に納得、安心している。		
31		<b>○看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	ホーム内には2名の准看護師を配置しているが、母体からは週2回看護師が来て、日常の情報交換と健康管理を行っている。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	医療機関とは入院時より退院に向けての話し合いを家族を交えて行い、安心して治療ができるようにしており、必要に応じて面会を重ねて退院の準備をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>○<b>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b></p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化した時の意向を家族と度々話し合い、必要時には主治医も交えて話し合いをもって方針を検討している。</p>		
34		<p>○<b>急変や事故発生時の備え</b></p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>どんな場面に遭遇しても慌てず対処ができるよう常に話し合い、業務の中で意識を高めている。</p>		
35	13	<p>○<b>災害対策</b></p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>避難訓練が活かせるよう、日常の業務の中で認識できるように努力している。地域の消防団、役場とは協力を得られるよう常に働きかけている。</p>		
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<p>○<b>一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</b></p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>個人の性格を把握し、プライドやプライバシーを損ねないように言葉使いなどに気をつけて支援している。</p>		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自分の思いや、希望また愚痴が言える雰囲気づくりに努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの生活リズムに合わせて支援を行っており、可能な限り本人の意向に沿うように支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	家族の協力も得て、本人に合ったおしゃれ、身だしなみができるように支援している。地域の行きつけの理・美容院を利用している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ゆったりとした雰囲気の中で食事を楽しんでもらえるよう工夫している。季節の食材を取り入れ、可能な限り地元で取れた物を使用し、野菜の下ごしらえ等一緒にしている。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個人の嗜好や摂取量を考慮して、不足や過度にならないよう支援し、水分不足にならないよう個人の状態や習慣に応じて支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		<b>○口腔内の清潔保持</b> 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後のケア、夜間の義歯の消毒を行っている。歯科訪問治療も受けており口腔ケアについてのアドバイスを受けて実践に取り組んでいる		
43	16	<b>○排泄の自立支援</b> 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個人に合った誘導を行い、プライバシー保護に配慮して支援している。時間的誘導にて気持ちよく排泄ができ、パッドの汚染軽減もできている。		
44		<b>○便秘の予防と対応</b> 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個人の排便チェックを行い、水分摂取、繊維の多い食品摂取、個人に合った運動等、日常的に行い薬は出来るだけ使用しないようにしている。		
45	17	<b>○入浴を楽しむことができる支援</b> 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	毎日入浴できる体制にあり、本人の希望や体調により安全かつ快適な入浴を提供している。		
46		<b>○安眠や休息の支援</b> 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個人に合わせてゆっくり眠れるよう、光、音、温度、寝具など調整をするよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		<b>○服薬支援</b> 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	日々の服薬確認、服薬介助、名前、食前、食後など再確認して行っている。 薬の内容は個人ファイルに閉じ誰もが解るようにしている。		
48		<b>○役割、楽しみごとの支援</b> 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ぬり絵、カラオケ、しりとり、ピー玉ゲームなど自分に合ったことの楽しみをしている。		
49	18	<b>○日常的な外出支援</b> 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	気候状況や体調に合わせて屋外散歩を行っている。見守り、付き添いはレベルにより安全に行う。お花見、運動会、夏祭りなどは家族一緒に楽しんでもらうようにしている。買い物やドライブなど遠出ができない方には車椅子にて近所を回り季節が味わえるよう配慮している。		
50		<b>○お金の所持や使うことの支援</b> 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物や外出の時など自分で支払う機会もありお金を大切に使っている。理解ができない方は職員が支援している。		
51		<b>○電話や手紙の支援</b> 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話はかけ間違いのないよう手助けをして相手を確認してから本人と代わっている。携帯電話を使用している方には大きな声での通話は時間帯などにより配慮するよう話している。手紙は年賀状を一緒に作成して投函している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>迷いや混乱を招くことのないよう、馴染みの物を飾り、使い慣れた椅子を使用し昔ながらの生活を感じ落ち着いて過ごせるよう工夫している。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ひとり一人が自分の居場所を見つけて仲間同士でゆっくり話ができるよう椅子やソファの置く位置を工夫している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>馴染みの家具や、大切にしていた物を持ち込んでいただき、本人が一番落ち着いて過ごせるよう話し合い、雰囲気づくりをしている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>個人レベルをよく把握して、出来ないことを助け、できることが多くなるよう支援している。自室やトイレの入れ口が解らない方のために、花をつけたり目印をし、混乱を最小限にとどめるように努めている。</p>		

V アウトカム項目

ユニット名： ( 太 陽 )

項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている
			2. 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない